

Press release

鶴ヶ島市公共施設への「武州さすてな電気ビジネス」導入開始と市民向け再エネ電力普及啓発で連携 –3者包括連携協定に基づくカーボンニュートラル実現に向けた取り組み–

武州ガス株式会社（社長：原 敏成、以下「武州ガス」）は、鶴ヶ島市（市長：齊藤 芳久、以下「鶴ヶ島市」）と連携し、2050年ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みとして、8月中旬より鶴ヶ島市公共施設46件（低圧電力契約分）の電力供給を、武州ガスの提供する「武州さすてな電気ビジネス」に切り替えました。これは、鶴ヶ島市、武州ガス、東京ガス株式会社の3者で締結した「カーボンニュートラルシティ実現に向けた包括連携協定」※1に基づく取り組みの一環です。

本取り組みは、鶴ヶ島市が推進する再生可能エネルギー導入促進施策の一環です。公共施設の電力供給を「武州さすてな電気ビジネス」に切り替えることで、CO2排出量の実質ゼロ化を実現し、環境負荷低減に貢献します。また、電気料金削減効果も見込まれ、市の財政負担軽減にも寄与します。

武州ガスと鶴ヶ島市は、「実質再生可能エネルギー電気の普及に関する基本合意書」※2を締結しました。この合意に基づき、今後、市民の皆様に向けた再生可能エネルギー電気の普及啓発活動に共同で取り組みます。具体的な活動内容としては、市ホームページ、広報誌等を通じて「武州さすてな電気」をはじめとする再生可能エネルギー電気のメリットや導入方法等を積極的に発信してまいります。

武州ガスは、今後も鶴ヶ島市との連携、そして3者包括連携協定に基づく活動を強化し、地域社会の持続可能な発展に貢献してまいります。

※1 [鶴ヶ島市における「カーボンニュートラルシティ実現に向けた包括連携協定」の締結（2023年3月10日発表）](#)

※2 [release20250307.pdf](#)

＜本件に関するお問い合わせ＞
埼玉県川越市東田町5番地18
武州ガス株式会社
担当：特需開発・CNC推進室
電話：049-241-9001